

技術科学習指導略案（第1学年A組 男子8名，女子21名）

平成30年11月15日（木）3限
授業者：井邊 正城 ・ 森田 勝巳

- 1 単元名：材料と加工に関する技術
- 2 単元：作品の製作
- 3 本時のねらい：本だな制作を通して、材料に適した加工法を理解し、工具や機器を安全に使用することができる。（生活の技能）
- 4 準備物：教科書、ノート
- 5 本時の学習過程（第7時／全15時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の作業内容の確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て ・ 図や実物を提示する。
<p>めあて：自分の作業工程に応じた加工法を、正しく安全におこなう。</p>	
<p>作業が早い生徒や、遅れている生徒がいるため、それぞれが作業を行う。</p> <p>今の工程を早く終わらせた生徒は、遅れている生徒の手助けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けがき・木材の切断・やすり掛け 等 	<ul style="list-style-type: none"> ※作業している生徒を見回り、必要に応じてアドバイスや支援を行う。 ○作業の様子や進行具合
<p>山場：互いに協力しながら、工具や機器を安全に使用する。</p> <p>「のこぎりびきは立つ位置・目線が大切なんだ。」 「さしがねは内側を合わすんだ。」</p>	
<p>振り返り・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使った場所の掃除・片付け ・ 作業の後片づけを行う。使った道具は、きれいにして元の位置に戻す。道具に破損等がある場合は報告する。 ・ 安全・適切に工具を使用することができたか制作を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ○<めあての評価> 木材の加工を正しく安全に行うことができる。 ○<ねらいの評価> 安全に機器・工具を使用し、工夫して作業を行うことができる。